

学年ごとのおでかけでのできごと

運動会が終わり、しばらくの間全校が一緒に動くことが多かったものが、学年ごと、クラスごとでの活動が多くなってきました。

【10/14】3学年の先生が「これから**算数の勉強で1km歩いてきます。**」と教えてくれたので、一緒に行かせてもらいました。小学校前の信号機を起点に、1組は上田市街地方面、2組は青木村方面へ歩きました。私は2組の後ろを歩きます。はじめの100mの場所は担任の先生に教えてもらいました。自分は歩測していったのですが、自分の感覚よりも実際は遠くでした。子どもたちは自分の予想よりも近かったとか、遠かったとかそれぞれに口にしていました。出発前に1kmはこのあたりと予想していた花ノ木地区が測ると500mだと聞き、**実際に歩いてみないとわからないことがあるもの**だと感じたようです。ちなみに、1kmは仁古田の交差点を過ぎて、もう少しで浦野川というあたりでした。



3年生に限らず、子どもたちは「100万リットル」「1万トン」「1兆円」などと、知っている単位や桁を口にすることがあります。この日は「**1km**」を**実感**して捉えられてよかったです。

【10/20】5年生が室賀川へ理科の勉強に行きました。「流れる水の働き」という単元で、「**運搬**」「**堆積**」「**浸食**」の3つの働きを実際の川で確認しました。気温の低い日で水も冷たかったのですが、自然の川の流れを使って砂や石が運ばれる様子を見たり、大きな石がどのあたりに多いかが分かったり、川が蛇行する外側ではえぐられるように土手が浸食されていることを知ったりすることができました。日頃川を目にするこどもも少なくはない子どもたちですが、**これまでとは違った見方**ができるようになったことでしょう。



トレイに砂や石を乗せ、川に入れて観察します。

【10/21】2年生が地域探検でいろんなところへ行っています。今回は**小泉大日堂**方面へ行くということだったので、私もついていきました。

先頭を歩くのは、今日のコースを通学路にしている子どもたちです。そして、行く道々で「あそこに見える、屋根にえんとつがある家は私の家です。」といった案内をしてくれます。子どもたちは「へ～、そうなんだあ。」と**新たな情報のお知らせに喜び**を隠せません。

道はいよいよ大日堂の参道です。学校にも植えられているフジバカマの花壇や、誰のために作られたのか気になる大きな巣箱などを見つつ、石段を登りきると立派なお堂が待っていました。

これからしばらくは自由な時間です。子どもたちにとって大きなお堂はパラダイス。「どんぐりの実でも拾いましょうか。」なんて大人は考えていましたが、あっという間に休み時間の校庭状態。**一番人気は軒下に潜ってのアリジゴク探し。**

二番人気は鰐口を鳴らすこと。地域の文化財をあまりぞんざいに扱っては罰が当たるかと心配していたところへ男の方がおいでになりました。驚いたことに、なんとこの方はご住職。隣のお堂の軒にハチの巣があるので気をつけてと教えに来てくださったのです。そして、**昔は境内が子どもたちの遊び場だったこと**、危険なものは特にないと思うので気をつけてどうぞと言っておきました。その後ご住職は「ちょっとお参りだけ。」とおっしゃってお堂へ向かわれましたが、その様子が気になった二人の子が、ご住職のとなりで読経に耳を澄ましていた姿が印象的でした。何を感じ取ったのでしょうか？

帰りはまた違ったコースで学校へ戻ります。例によっておうちが近い子の案内がありました。そしてちょうど自分の家を紹介するタイミングで、「あっ、お母さんだ」ということになり、50mほど離れた場所にいらした**お母さんにみんな**で手を振って帰りました。

今度はどこへ行くのでしょうか。また連れて行ってけると嬉しいです。

